

政策 21 健康な暮らしの充実

施策 01 地域医療体制・制度の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域医療体制に不安なく健やかに暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内の医療体制に満足している市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【健康づくり課】	%	-	80.1	-	
評 価	<p>(状況) 市内の医療体制に満足している市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、産科婦人科、小児科に対応できる病院の体制が維持できていることや、病診連携の取組が進んでいることから、成果は向上していると推測されます。</p>						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 充実した地域医療の確保
基本事項 02 子ども医療体制の強化
基本事項 03 国民健康保険制度の適正な運営

基本事項01 充実した地域医療の確保

指標①	診療所・医院からの公立岩瀬病院への患者紹介率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	39.4	41.6	38.1	→	☀ (向上)
評価	(状況) 診療所・医院からの公立岩瀬病院への患者紹介率は38.1%で、平成24年度基準値の35.1%と比較し3.0ポイント増加していますが、前年度と比較すると3.5ポイント減少しています。 (原因) 平成29年4月に公立岩瀬病院に産科婦人科が開設され、全体の初診患者数が増加したため、紹介率が低下していますが、診療所・医院との病診連携により、紹介患者数は増加しています。						目標達成度
							---

基本事項01 充実した地域医療の確保

指標②	公立岩瀬病院からの診療所・医院への患者紹介率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	47.2	47.8	41.8	→	☀ (向上)
評価	(状況) 公立岩瀬病院からの診療所・医院への患者紹介率は41.8%で、平成24年度基準値の32.3%と比較し9.5ポイント増加していますが、前年度と比較すると6.0ポイント減少しています。 (原因) 平成29年4月に公立岩瀬病院に産科婦人科が開設され、全体の初診患者数が増加したことなどが要因として考えられます。また、産科では診療所へ紹介することが少ないため、紹介率が低下しました。						目標達成度
							---

基本事項01 充実した地域医療の確保

指標③	市内出動救急車による市内病院等の搬送率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	50.9	49.9	47.3	→	☂ (低下)
評価	(状況) 市内出動救急車による市内病院等の搬送率は47.3%で、平成24年度基準値の51.3%と比較し4.0ポイント減少、前年度との比較でも2.6ポイント減少していますが、経年比較ではほぼ横ばいです。管内以外では、郡山地域への搬送が41.0%、その他が11.7%となっています。 (原因) 救急搬送の件数（平成29年は4,881件）に対して、医師不足などにより対応できる管内の病院に限られることが原因と思われます。また、疾患別では特に「脳疾患」における郡山地域への搬送率が71.9%と高いことから、診療科目の偏りも影響していると考えられます。						目標達成度
							---

基本事項01 充実した地域医療の確保

指標④	かかりつけ医がいる市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	-	80.6	-	→	---
評価	(状況) かかりつけ医がいる市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、ホームページによる周知のほか、市広報紙などでも継続して意識の啓発を行っているため、成果は向上していると推測されます。						目標達成度
							---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 充実した地域医療の確保
基本事項 02 子ども医療体制の強化
基本事項 03 国民健康保険制度の適正な運営

基本事項02 子ども医療体制の強化

指標①	産科・小児科及び周産期医療に対応できる病院数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	施設	2	2	2		(横ばい)
評価	(状況) 国立病院機構福島病院の小児科と公立岩瀬病院の産科婦人科・小児科で診療体制を維持しています。 (原因) 福島県立医科大学に寄附講座「周産期・小児地域医療支援講座」を設置し、地域密着型後期研修プログラムの開発・研究を行っているほか、国立病院機構福島病院と公立岩瀬病院で診療支援を受けました。	<p>(施設)</p>					目標達成度
							---

基本事項03 国民健康保険制度の適正な運営

指標①	被保険者一人あたりの年間医療費	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【保険年金課】	円	334,716	328,367	352,481	→	(低下)
評価	(状況) 被保険者一人あたりの年間医療費は352,481円で、平成24年度基準値の312,268円と比較し約40,000円増加、前年度との比較でも約24,000円増加しています。入院・外来等の受診件数は、前年度と比較し年間で約11,000件、月平均で約900件減少しています。しかし、医療費総額は、約9,700万円増加しています。 (原因) 受診件数は減少していますが、歯科診療を除いた全ての診療項目で医療費が増加しており、特に、入院診療費は約1億7,000万円増加しています。これは、医療技術の進歩に伴う医療の高度化が影響しているものと考えられます。	<p>(円)</p>					目標達成度
							---

基本事項03 国民健康保険制度の適正な運営

指標②	国民健康保険税収納率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【保険年金課】	%	92.25	93.88	94.77	→	(向上)
評価	(状況) 国民健康保険税の収納率は、前年度と比較し0.89ポイント増加し94.77%となっています。平成24年度基準値の92.53%との比較でも2.24ポイント増加しています。 (原因) 納付者に対して、コンビニ収納やクレジット収納、休日納税相談窓口の開設など、納付しやすい環境を提供してきたことが収納率の増加に表れたと考えられます。	<p>(%)</p>					目標達成度
							---

政策 21 健康な暮らしの充実

施策 02 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	各年代に応じた心身の健康保持・増進が図られて、健やかに暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	健康だと感じている市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【健康づくり課】	%	-	81.5	-	
評価	<p>(状況) 健康だと感じている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、平成22年度に策定した市健康増進計画の中間評価における経年比較では、平成22年度81.1%から平成29年度80.9%とほぼ同じ割合となっているため、成果は横ばいであると推測されます。住民が健診等で自分の健康状態を把握し、住民自ら生活習慣の改善や健康意識を高め、実行することができるような事業や訪問活動を実施しているためと考えられます。</p>						---
							目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 地域保健活動の充実
基本事項 02 生涯を通じた健康づくりの推進
基本事項 03 母子保健の充実

基本事項01 地域保健活動の充実

指標①	生活習慣病死亡率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	10万人対	631.4	614.2	-	→	
評価	<p>(状況) 平成28年生活習慣病死亡率(人口10万対)は、614.2と基準値の598.1より高い結果となっています。なお、平成28年の国の生活習慣病死亡率は560.4、県は697.9となっており、市は国よりも上回り、県よりは下回っています。</p> <p>(原因) 市保健事業概況によると特定保健指導実施率は、平成28年度は16.4%で、平成29年度は21.1%と4.7ポイント増加していますが、国の平成28年度の実施率は24.7%で、国の実施率より低くなっていることが要因の一つと考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項01 地域保健活動の充実

指標②	健康づくりのための生活習慣実践項目数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	項目	-	-	-	→	
評価	<p>(状況) 健康づくりのための生活習慣実践項目数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、保健師・管理栄養士等の健康教育・健康相談・訪問指導等の実施人数が増加していること、また健康づくり推進員や食生活改善推進員の活動への参加人数も増加していることなどから、市民の間でも健康への取組が広がっていると考えられ、成果も向上していると推測されます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項01 地域保健活動の充実

指標③	健康のために「特に何もしていない」人の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	-	1.8	-	→	
評価	<p>(状況) 健康のために「特に何もしていない」人の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、保健師・管理栄養士等の健康教育・健康相談・訪問指導等の実施人数が増加していること、また健康づくり推進員や食生活改善推進員の活動への市民参加人数も増加していることなどから、市民の間でも健康への取組が広がっていると考えられ、成果も向上していると推測されます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 生涯を通じた健康づくりの推進

指標①	特定健康診査受診者におけるメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	30.7	31.5	31.6	→	
評価	<p>(状況) 特定健康診査受診者におけるメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の者の割合は31.6%です。平成29年度の男女別では、男性は47.7%、女性は18.9%がメタボリックシンドローム該当者及び予備軍であり、男女で大きな差があります。また、女性は年齢とともに少しずつ割合が高くなりますが、男性は55歳以上で急に割合が高くなっています。</p> <p>(原因) 男性の40代の受診率が20%以下なのに対し、女性は受診率が20%以上になっており、健康意識の違いと若い年代からの受診による生活習慣の改善が影響しているものと考えられます。</p>						目標達成度
		(横ばい)					

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 地域保健活動の充実
- 基本事項 02 生涯を通じた健康づくりの推進
- 基本事項 03 母子保健の充実

基本事項02 生涯を通じた健康づくりの推進

指標②	この1年間に健康診断を受けている市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	-	72.8	-	→	
評価	(状況) この1年間に健康診断を受けている市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、健康意識の高まりや受診動向により、各種健康診断の受診者数は増加傾向にあると推測されます。						目標達成度
							---

基本事項02 生涯を通じた健康づくりの推進

指標③	この2年間でがん検診を受けている市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	-	62.2	-	→	
評価	(状況) この2年間で何らかのがん検診を受けていると回答した市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、健康意識の高まりにより、各種がん検診の受診者数は増加傾向にあると推測されます。また、胃がん・肺がんは、集団健(検)診会場でも検査が可能であるため、受診割合が高くなっていると考えられます。						目標達成度
							---

基本事項03 母子保健の充実

指標①	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	88.1	90.1	88.8	→	
評価	基準値は、市健康増進計画現状値です。 (状況) 3・4か月、1歳6か月、3歳児健康診査における健康診査票への記入結果から「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある」と答えた母親の割合は、88.8%と高く、前年度と比較しても横ばいです。平成22年度に策定した市健康増進計画の中間評価結果でも平成22年度75.3%から29年度83.1%に増加しています。 (原因) 妊娠・出産・子育てにおける母親の不安を解消するために妊娠期から家庭訪問(延べ1,819件)、健康相談(延べ2,410件)、健康教育(延べ26回)を実施していることから、育児不安が軽減され、安心して子育てができる環境となっていることによるものと考えられます。						目標達成度
							☀️(向上)

基本事項03 母子保健の充実

指標②	1歳6か月までに麻疹風しん予防接種を終了している者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	84.9	83.7	81.5	→	
評価	(状況) 1歳6か月児健康診査時における麻疹風しん予防接種率は81.5%で、前年度と比較し、ほぼ横ばいですが、接種勧奨等を行っているため、接種対象年齢である2歳までには、ほぼ100%の実施率となっています。 (原因) 出生児訪問や麻疹風しん予防接種対象年齢になる前の9・10か月児健康診査において接種勧奨をしています。9・10か月児健康診査で、ほぼすべての保護者に接種勧奨を行い、さらに1歳6か月児健康診査においても接種勧奨をしていることが接種率維持につながっていると考えられます。						目標達成度
							☁️(横ばい)



政策 22 市民福祉の向上

施策 01 地域福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域力を生かした支えあいのまちづくりができています。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	地域力を生かした支えあいのまちづくりが出来ていると思う民生委員・児童委員及び保護司の割合 【社会福祉課】	%	-	57.4	51.3	→	☂ (低下)
評価	(状況) 地域力を生かした支えあいのまちづくりが出来ていると思う民生委員・児童委員及び保護司の割合は51.3%となっており、前年度と比較して6.1ポイント減少しました。男女別で比較すると、男性が51.7%、女性が50.7%となっており、地区別では、仁井田地区が72.7%と高く、長沼・岩瀬地区が33.3%と低くなっています。 (原因) アンケート結果では、長沼・岩瀬地区は、交通不便やお年寄りのふれあいの場が不足しているなどの意見が寄せられ、地域力が発揮しづらい状況であることが、要因の一つとして考えられます。						目標達成度 ---
②	地域で支え合う仕組みづくりができていると思う市民の割合 【社会福祉課】	%	-	52.1	-	→	---
評価	(状況) 地域で支え合う仕組みづくりができていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、本施策を構成している基本事項の成果指標値が低下しているため、低下していると推測されます。						目標達成度 ---
③	良好な近所づきあいができている市民割合 【社会福祉課】	%	-	42.5	-	→	---
評価	(状況) 良好な近所づきあいができている市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、本施策を構成している基本事項の成果指標値が低下しているため、低下していると推測されます。						目標達成度 ---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 誰もが安心して暮らせる環境の整備
- 基本事項 02 福祉ネットワークの充実
- 基本事項 03 地域福祉活動への住民参加の推進

基本事項01 誰もが安心して暮らせる環境の整備

指標①	地域において高齢者等に対する見守りがなされていると思う民生・児童委員の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	%	-	53.4	45.8	→	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 地域において高齢者や障がい者、母子世帯等に対する見守りがなされていると思う民生・児童委員の割合は45.8%となっており、前年度から7.6ポイント減少しました。男女別では、男性が44.9%、女性が46.8%となっており、地区別では、稲田地区が71.4%と高く、西袋地区が26.3%と低くなっています。</p> <p>(原因) 西袋地区は、新興住宅や単身世帯等が多く、地区内の世帯状況の把握が難しいことが地区内のつながりを希薄化させている要因と思われます。</p>	(%)					☔ (低下)
							目標達成度

基本事項01 誰もが安心して暮らせる環境の整備

指標②	須賀川市ユニバーサルデザイン導入行動計画に掲げた事業の達成件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	件	25	33	25	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市ユニバーサルデザイン導入行動計画に掲げた事業の達成件数は25件で、前年度と比較し8件減少しています。平成29年度は、導入計画件数63件のうち、行政施設整備7件、道路整備6件、憩いの空間整備(公園)1件、情報伝達整備(広報、案内表示等)11件が達成、または一部達成されました。しかし、老朽化が始まっている各公民館の手すり、段差解消のスロープ、トイレの補助バー及びエレベーターなどの設置が進んでいない状況です。</p> <p>(原因) ユニバーサルデザインを取り入れた施設の更新が進み、ある程度計画が達成されたためと考えられます。</p>	(件)					☀ (向上)
							目標達成度

基本事項01 誰もが安心して暮らせる環境の整備

指標③	社協や住民同士で展開している地域福祉サービスのメニュー数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	メニュー	8	8	7	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 社会福祉協議会や住民同士で展開している地域福祉サービスのメニュー数は7事業となり、前年度と比較し1事業減少しました。7事業の内訳は、生活福祉資金貸付19件、生活援助資金貸付11件、法外援護による生活困窮世帯の救済44件、福祉的就労体験1件、日常生活自立支援延べ331件、心配ごと相談所の運営、共同募金及び歳末たすけあい運動募金です。</p> <p>(原因) 1事業減少した原因は、応急仮設住宅に入居している人に対する生活支援相談員による相談業務が、応急仮設住宅の供与終了に伴い終了したためです。</p>	(メニュー)					☁ (横ばい)
							目標達成度

基本事項02 福祉ネットワークの充実

指標①	関係機関のネットワークが構築されていると思う民生・児童委員の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	%	-	64.6	57.3	→	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 社会福祉協議会や行政等関係機関が連携出来るネットワークが構築されていると思う民生・児童委員の割合は57.3%となり、前年度から7.3ポイント減少しました。男女別では、男性が50.7%、女性が64.5%となっており、地区別では、最も高い稲田地区が85.7%であり、最も低い地区が長沼地区で41.2%となっています。</p> <p>(原因) アンケート結果では、関係機関から民生・児童委員へ住民情報の十分な提供がなされていないとの意見が多く寄せられており、これが指標低下の原因であると考えられますが、個人情報保護の制約もあるため、情報提供方法の再検討が必要です。</p>	(%)					☔ (低下)
							目標達成度



□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 誰もが安心して暮らせる環境の整備
- 基本事項 02 福祉ネットワークの充実
- 基本事項 03 地域福祉活動への住民参加の推進

基本事項03 地域福祉活動への住民参加の推進

	福祉ボランティア登録者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
指標 ①	【社会福祉課】	人	3,060	3,242	2,128	→	☔ (低下)														
評 価	<p>(状況) 福祉ボランティア登録者数は2,128人で、前年度と比較し1,114人減少しました。</p> <p>(原因) 震災から7年が過ぎ、震災ボランティアの活動が一定の成果を上げたため、登録を終了したことが原因と考えられます。しかし、震災ボランティア以外のボランティア登録者数はほぼ横ばいとなっています。</p>	<p>(人)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>福祉ボランティア登録者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>2,300</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,100</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,200</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,100</td></tr> </tbody> </table>					年度	登録者数	H24	2,300	H25	2,100	H26	2,500	H27	3,000	H28	3,200	H29	2,100	目標 達成度
年度	登録者数																				
H24	2,300																				
H25	2,100																				
H26	2,500																				
H27	3,000																				
H28	3,200																				
H29	2,100																				
							---														

政策 22 市民福祉の向上

施策 02 高齢者福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
65歳以上の高齢者	健康を保ちながら生活でき、介護状態になっても、地域の中でともに支え合いながら自分の健康状態にあわせた生活を送ることができ ます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	健康で元気な高齢者の割合（自立高齢者割合）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【長寿福祉課】	%	80.9	80.3	80.6	
評 価	（状況）健康で元気な高齢者の割合（自立高齢者割合）は80.6% で、前年度と比較すると0.3ポイント増加していますが、平成24年度 基準値の81.7%に対しては1.1ポイント低い状況となっています。 （原因）65歳以上高齢者全体の人数が年々増加傾向にあり、それに 伴い要介護認定者数も増えている状況ですが、平成29年度は65歳以 上高齢者数が高い伸びを示したためです。						(低下)
		目 標 成 度	■ ■ ■	(低)			

指標 ②	地域で支えあう仕組みづくりができていると思う高齢者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【長寿福祉課】	%	-	54.2	-	
評 価	（状況）地域で支えあう仕組みづくりができていると思う高齢者の 割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得とし ているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成してい る基本事項の成果指標値の多くが低下していることから、低下して いると推測されます。65歳を超えてもさらに働き続ける高齢者が増 えていることなど、高齢者の価値観や地域との関係性が変化してき ていると考えられます。						---
		目 標 成 度	---				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 高齢者の生きがいがづくりの推進
- 基本事項 02 介護保険制度の適正な運営と介護予防の推進
- 基本事項 03 地域包括ケア体制の推進

基本事項01 高齢者の生きがいがづくりの推進

指標①	生きがいを有して生活している高齢者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	-	81.8	-	→	
評価	(状況) 生きがいを有して生活している高齢者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値の多くが「低下・悪化」、「維持・横ばい」となっており、低下していると推測されます。						目標達成度
							---

基本事項01 高齢者の生きがいがづくりの推進

指標②	地域活動に参加したことがある高齢者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	-	43.3	-	→	
評価	(状況) 地域活動に参加したことがある高齢者の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値が「低下・悪化」、「維持・横ばい」が多くなっており、低下していると推測されます。単位老人クラブの団体数、会員数ともに減少しており、65歳を超えてもさらに働き続ける高齢者が増えていることなど高齢者の価値観や地域との関係性が変化してきていることが原因と考えられます。						目標達成度
							---

基本事項02 介護保険制度の適正な運営と介護予防の推進

指標①	介護保険認定処理平均日数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	日	39.5	39.0	39.5	→	
評価	(状況) 介護保険認定処理平均日数は39.5日で、前年度より0.5日多く、平成24年度基準値の38.0日より1.5日増加していますが、県内平均(40.6日)と比較すると、認定処理日数は短くなっています。 (原因) 新規申請はほぼ横ばいですが、更新・区分変更申請については、わずかに処理日数が長くなっています。また、調査実施日までの日数は前年度とほぼ変わりませんが、主治医意見書入手までの日数が、基準値年度の日数と比較し、長くなっているのが原因と考えられます。						目標達成度
							(横ばい)

基本事項02 介護保険制度の適正な運営と介護予防の推進

指標②	介護保険事業計画に基づく利用実績率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	99.5	96.9	98.2		
評価	(状況) 介護保険事業計画に基づく利用実績率は98.2%で、前年度と比較し1.3ポイント増加し、概ね事業計画の利用実績見込どおりに推移しています。 (原因) 介護保険事業計画は3年ごとに見直しています。平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業が完全実施となり、介護給付費及び地域支援事業費の見込額が概ね推計どおりとなったためです。						目標達成度
							---

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 高齢者の生きがいがづくりの推進
- 基本事項 02 介護保険制度の適正な運営と介護予防の推進
- 基本事項 03 地域包括ケア体制の推進

基本事項02 介護保険制度の適正な運営と介護予防の推進

指標 ③	介護サービスに関する適正化件数（介護サービストラブル件数）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【長寿福祉課】	件	2	2	5	→	☂ (低下)
評 価	<p>(状況) 介護サービスに関する適正化件数（介護サービストラブル件数）は5件であり、前年度と比較し3件増加していますが、介護サービス全体では概ね適正に実施されています。</p> <p>(原因) 事業者の介護保険制度の運用方法に誤りがみられたこと等が原因となっていますが、県及び市において、実地指導等を実施し改善されています。</p>	(件)					目標 達成度
							---

基本事項03 地域包括ケア体制の推進

指標 ①	重度な要介護状態となっても在宅で生活することができる高齢者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【長寿福祉課】	人	511	538	551	→	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 重度な要介護状態となっても在宅で生活することができる高齢者数は551人で、前年度と比較し13人増加しています。また平成24年度基準値の460人と比較し、91人増加しています。</p> <p>(原因) 要介護認定者数が増加する一方で、地域密着型サービス等の利用者が増加していることにより、家族の介護負担の軽減等が図られ、高齢者が在宅で生活が継続できているためと考えられます。</p>	(人)					目標 達成度
							---

基本事項03 地域包括ケア体制の推進

指標 ②	介護予防・日常生活支援総合事業の年間利用者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【長寿福祉課】	人	562	522	533	---	---
評 価	<p>(状況) 介護予防・日常生活支援総合事業等の年間利用者数は533人で、前年度と比較し11人増加しています。また、平成24年度基準値の468人と比較し65人増加しています。</p> <p>(原因) 前年度実績と比較し配食サービスの利用者数は33人増加、生きがいデイサービスの利用者数は増減なし、家事援助サービスの利用者数は3人、運動器機能向上事業の利用者数は19人減少しています。本事業は、要介護等になるおそれのある方に運動教室等の案内を行っており、前年度や基準値からの比較では、高齢者及び要介護等になるおそれのある方が増加したことで、介護予防への意識が高まったことが表れているためだと考えられます。</p>	(人)					目標 達成度
							---

基本事項03 地域包括ケア体制の推進

指標 ③	多職種参加によるケア会議によりケア方針が決定した件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【長寿福祉課】	件	14	21	14	---	---
評 価	<p>(状況) 多職種参加によるケア会議によりケア方針が決定した件数は14件で、前年度と比較し7件減少しましたが、平成24年度基準値との比較では10件増加しています。</p> <p>(原因) 地域ケア会議は、個別ケースの支援内容の検討や地域の実情に応じて必要と認められる事項などを協議する会議で、年々増加傾向にありますが、平成29年度については多職種参加によるケア会議が必要なケースが少なくなったためです。</p>	(件)					目標 達成度
							---

政策 22 市民福祉の向上

施策 03 障がい者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
障がい者（児）及びその家族	障がい者（児）とその家族が、自らが望む地域で、自立した生活ができています。

施策の成果状況と評価

指標①	在宅生活をしている障がい者（児）の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【社会福祉課】	%	98.1	97.5	97.9	
評価	（状況）在宅生活をしている障がい者（児）の割合は97.9%で、前年度と比較し、ほぼ横ばいとなっています。 （原因）平成29年度末現在の障がい手帳保持者は4,223人です。そのうち施設入所者数は88人で、在宅者数は4,135人です。障がい福祉サービス提供事業所が増加してきたため、在宅におけるサービス利用者が増加しています。しかし、施設入所者の約7割が重度障がい者であり、退所することが困難となっています。						目標達成度 ---

指標②	何らかの形で就労している障がい者の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【社会福祉課】	%	12.6	11.6	10.8	→
評価	（状況）何らかの形で就労している障がい者の割合は10.8%で、前年度と比較し、ほぼ横ばいとなっています。 （原因）須賀川管内での障がい者雇用は250.5人で、前年度と比べて14人減少しました。身体障がい者の離職率は低いものの、知的、精神障がいの離職者が増加したことが要因と考えられます。また、就労施設がある障がい福祉サービス事業所の利用者数は209人で、前年度と比べ12人増加しています。就労継続支援B型事業所の利用者数が増加したことが要因と考えられます。						目標達成度 (横ばい)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 「支え合う」理念の普及
基本事項 02 障がい者を支援する社会資源の充実
基本事項 03 障がい者の社会参加の促進

基本事項01 「支え合う」理念の普及

指標①	障がい者とともに暮らし支え合う行動ができる市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	%	-	75.5	-	→	
評価	(状況) 障がい者とともに暮らし支え合う行動ができる市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値が概ね横ばいのため、横ばいで推移していると推測されます。引き続き、市民が障がい者とともに暮らし支え合う行動ができるよう、更なる向上を図ります。						目標達成度
							---

基本事項01 「支え合う」理念の普及

指標②	障がい者又はその家族の相談件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	件	6,956	7,038	6,690		
評価	(状況) 障がい者又はその家族の相談件数は延べ6,690件で、前年度と比較し、延べ件数は348件減少していますが、実相談人数は105人増加しています。 (原因) 相談支援方法は、訪問、電話、来所、同行、メール、個別支援会議、関係機関会議などがあり、全体で6,690件でした。個別会議が1,460件、電話が1,445件で全体の約半数を占めています。なお、相談延べ件数が減少し、実相談人数が増加した要因としては、相談支援事業所が障がい者1人ひとりに寄り添った相談支援業務を実施したためと考えられます。						目標達成度
							---

基本事項02 障がい者を支援する社会資源の充実

指標①	福祉施設(主に通所施設)を退所して、一般就労した障がい者の数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	2	1	1	→	
評価	(状況) 福祉施設を退所して一般就労した障がい者の数は1人で、前年度と同数です。 (原因) 市と須賀川地方地域自立支援協議会就労支援部会では就労に対する取組を行っており、その中でも就労体験等を行ったことが成果に結び付きました。また、一般就労した1人は、身体障がい者で、市外の金属会社に就職しました。						目標達成度
							---

基本事項02 障がい者を支援する社会資源の充実

指標②	障がい福祉サービスの利用者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	594	652	703		
評価	(状況) 障がい福祉サービスの利用者数は703人で、前年度と比較し51人増加しています。 (原因) 市内の指定特定相談支援事業所数は6か所で、相談支援専門員は8人です。障害者総合支援法改正時の平成25年度と比較すると5か所、6人増加しており、サービス利用計画作成率は100%であるため、利用者増加につながっていると考えられます。また、相談支援員は、障がい者の抱える課題や適切なサービス利用のため、ケアマネジメントをしています。						目標達成度
							---

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 「支え合う」理念の普及
- 基本事項 02 障がい者を支援する社会資源の充実
- 基本事項 03 障がい者の社会参加の促進

基本事項03 障がい者の社会参加の促進

指標 ①	地域生活支援事業の利用者数（各事業の合算）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき	
	【社会福祉課】		人	403	437	467		---
評 価	<p>（状況）地域生活支援事業の利用者数は467人で、前年度と比較し30人増加、平成24年度基準値と比較すると50人増加しています。</p> <p>（原因）市内の日中一時支援事業所において、日中活動の場の確保や社会適応訓練などを行ったことで利用者数が増加したことが要因と考えられます。</p>	(人)						目標 達成度  ---

基本事項03 障がい者の社会参加の促進

指標 ②	企業の障がい者雇用者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき	
	【社会福祉課】		人	295.5	264.5	250.5	➔	☀ (向上)
評 価	<p>（状況）企業の障がい者雇用者数は250.5人で、前年度と比較し14.0人減少しています。</p> <p>（原因）前年度から身体・精神障がい者の離職者数が増加したことが要因と考えられます。</p>	(人)						目標 達成度  ---

政策 22 市民福祉の向上

施策 04 低所得者福祉の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	対象者の最低生活が保障されるとともに、社会的、経済的に自立できます。また、生活保護に至る前に活用可能な社会資源を用いて困窮状態から自立できます。

施策の成果状況と評価

指標①	保護率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【社会福祉課】	‰	8.2	8.4	8.5	→
評価	<p>(状況) 保護率(年度平均)は8.5‰で、前年度と比較し0.1ポイント増加しています。なお、福島県全体の保護率は8.8‰(平成29年度平均)、全国の保護率は16.9‰(平成28年度平均)となっています。</p> <p>(原因) 高齢者世帯の保護率が、0.2ポイント増加したためと考えられます。</p>						目標達成度

指標②	就労による保護廃止世帯数(総合計画開始時からの累計)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【社会福祉課】	世帯	25	33	46	→
評価	<p>(状況) 就労による保護廃止世帯数は、平成29年度は13世帯となり、累計は46世帯となりました。50代6人、40代4人、20代3人が就労して自立に至りました。</p> <p>(原因) ケースワーカーと就労支援員、ハローワークが連携して就労支援を実施した結果と考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 生活困窮者に対する支援策の適正な運用

基本事項 02 失業者に対する就労支援の充実と就労意欲の喚起

基本事項01 生活困窮者に対する支援策の適正な運用

指標①	保護世帯数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	世帯	497	507	509	→	☂ (低下)
評価	(状況) 保護世帯数(年度平均)は509世帯で、前年度と比較し2世帯増加しています。 (原因) 高齢者以外の世帯が減少傾向にあるなか、全国と同様の傾向ですが、高齢者世帯が264世帯から274世帯へと10世帯増加したためと考えられます。						目標達成度
							---

基本事項01 生活困窮者に対する支援策の適正な運用

指標②	生活困窮者自立支援制度を利用している市民数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	31	41	84	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市生活相談支援窓口での利用人数は84人で、前年度と比較し43人増加しています。 (原因) 市広報紙、ホームページに事業内容を掲載し、公民館にポスター等を配置するとともに、地域包括支援センター等の関係機関、民生委員、医療機関、介護事業所、不動産事業者にチラシ・パンフレット等を配付し、生活困窮者自立支援事業の周知を図ったためと考えられます。						目標達成度
							---

基本事項02 失業者に対する就労支援の充実と就労意欲の喚起

指標①	生活保護及び生活困窮者自立支援事業による就職者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【社会福祉課】	人	26	31	52	→	☀ (向上)
評価	(状況) 生活保護及び生活困窮者自立支援事業による就職者数は52人です。内訳は、生活保護受給者の就職者が16人、平成27年度から実施している生活困窮者自立支援事業利用者の就職者が36人です。 (原因) 生活保護受給者、生活困窮者自立支援事業利用者、それぞれ専任の就労支援員がサポートした結果と考えられます。今後も一定の成果が見込まれます。						目標達成度
							---